

平成30年度個別作業計画（案）

モデル地区名	計画策定者	作業予定日時	作業概要（作業目的、作業範囲、方法等）	必要人員	必要な道具	必要な消耗品	その他必要な事項	保険
①ススキ群落（インターチェンジ草地）	下桑原牧野農業協同組合	9月19日（水） （予備日20日）	霧ヶ峰インターチェンジ付近の強清水園地はススキが優占しているため、ススキを刈取り草原外へ搬出することにより、ススキにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を刈取らないようススキを株ごとに刈払機で刈倒し、万能袋やブルーシート等を使って1箇所に堆積する。刈り取ったススキは、堆肥化処理を実施する。作業範囲は、平成29年度と同一場所で概ね1ヘクタールを目標とする。（試験的に8月中旬の刈取りを継続実施する）	50人程度（刈取班20人、運搬班30人程度は必要）	刈払機、熊手、手み、万能袋、ブルーシート、鎌、交通安全対策関係用具等	燃料、替刃（使用台数分準備）、手袋、お茶等	必要に応じて道路使用許可及び交通誘導員等交通安全対策。（搬出時） 刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う
②ニッコウササ群落（車山肩東）	霧ヶ峰高原牧野農業協同組合	9月5日（水） （予備日9月6日）	車山肩東側ピーナスライン上はニッコウササが優占しているため、ササを刈取り草原外へ搬出することにより、ササにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を刈取らないようササを刈払機で刈倒し、万能袋やブルーシート等を使って草原外へ搬出（作業場所北側は一部試験的に搬出していない。）する。範囲については、平成29年度と同一場所で概ね1ヘクタールを目標とする。搬出したササについては、同箇所ピーナスライン下の人工林へ堆積する。	60人程度（刈取班20人、運搬班40人程度）	刈払機、熊手、手み、万能袋、ブルーシート、交通安全対策関係用具等	燃料、替刃（使用台数分準備）、手袋、お茶等	必要に応じて道路使用許可及び交通誘導員等交通安全対策。 刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う
③レンゲツツジ群落（車山肩西）	霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合	9月15日（土） （予備日9月16日）	車山肩西側遊歩道沿いにレンゲツツジの群落が点在しており、森林化を促進している。レンゲツツジを伐採することにより森林化を防ぎ、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を損傷しないようレンゲツツジを刈払機等で伐採して万能袋等で運搬する。集めたレンゲツツジをウッドチップパーにより破碎して遊歩道に敷く。機械の能力等によりチップ化できない分については玉切りにしてその場へ放置する。範囲については、平成26年度実施箇所のレンゲツツジが再生してきていることから当該場所概ね1ヘクタールを目標とする。	30人程度	チェーンソー、刈払機、手のご、なた、剪定ばさみ、草刈り鎌、万能袋、ブルーシート等	燃料、チェーンソーオイル、刈払い機替刃（使用台数分用意）、手袋、お茶等	玉切りする場合はなるべく細かく行う チェーンソー、刈払機は経験者のみ使用	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う
④外来種駆除（池のくるみ周辺ハルザキヤマガラシ）	小和田牧野農業協同組合	6月2日（土） （予備日6月3日）	池のくるみ地区に侵入が見られる外来生物「ハルザキヤマガラシ」を駆除する。駆除範囲は高標高地から種が流入しているおそれがあるため、お花畑駐車場付近から池のくるみ一帯を行う。駆除方法としては県が作成した外来植物駆除対策の手引に基づき刈取り又は抜取りにより行うが、抜取りによる場合は、土壌の攪乱を防ぐため、復元することとする。また、周辺の在来植物への影響を最小限にするよう留意する。駆除した個体は焼却処分を行う。なお、地権者により作業日以前に刈払機による駆除を実施し、作業日当日に運搬処理を併せて行う。	50人程度	剪定バサミ、草抜き、移植ゴテ、種子除去マット等	ゴミ袋、手袋、お茶等	駆除した外来植物の処理はゴミ袋に入れて密閉し、諏訪市所有の運搬車両により諏訪湖周クリーンセンターに運搬し、焼却処分とする	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う

モデル地区名	計画策定者	作業予定日時	作業概要（作業目的、作業範囲、方法等）	必要人員	必要な道具	必要な消耗品	その他必要な事項	保険
⑤外来種駆除 （強清水湿地・踊場湿原入口オオハンゴンソウ）	上桑原牧野農業協同組合 小和田牧野農業協同組合 諏訪市	6月21日（木） （予備日6月22日）、 7月19日（木） （予備日7月20日）、 8月23日（木） （予備日8月24日） 踊場湿原入口については、第3回に実施予定。なお、アクアソーシャルフェス事業については未定。	強清水湿地付近、キャンプ場付近及び天然記念物踊場湿原入口付近に侵入が見られる特定外来生物「オオハンゴンソウ」を駆除する。駆除方法としては県が作成した外来植物駆除対策の手引に基づき、刈取り又は抜取り（試験的に花芽摘みにより行う。）による。地下茎の駆除に当たっては土壌の攪乱防止、周辺の在来植物への影響について十分留意する。駆除した個体は外来生物法の規定及び長野県防除計画に基づき、焼却処分を行う。第1回目は抜取りのみの作業とし、第2回、第3回は刈払い機による刈取り作業と抜取り作業を並行して行う。駆除した個体はパッカー車等で運搬し焼却処分を行う。	各回60名程度なるべく大勢で取り組む。アクア実施時は100名以上の見込み	剪定バサミ、草抜き、スコップ、移植ごて、種子除去マット、熊手、万能袋等 第2・3回の駆除は刈払い機併用	ゴミ袋、手袋、お茶等 第2・3回は燃料、替刃等	駆除した外来植物の処理は、ゴミ袋に入れ密封し、パッカー車により諏訪湖周クリーンセンターに運搬し、焼却処分とする。	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う（アクア実施時は諏訪市で保険加入手続き）
⑥外来種駆除 （強清水園地ヘラバヒメジョオン・メマツヨイグサ）	下桑原牧野農業協同組合	7月5日（木） （予備日7月6日）	強清水園地一帯に侵入が見られる2種の外来植物の駆除を行う。園地内遊歩道の両側を中心に実施。駆除方法については県が作成した外来植物駆除対策の手引に基づき刈取り・抜取りのいずれかで実施する。抜取の場合は土壌の攪乱防止のため抜取り後は復元し、周辺の在来種への影響に十分配慮して実施する。処理については、焼却処分とする。	20人程度	草刈り鎌、剪定ハサミ、移植ごて、種子除去マット等	ゴミ袋、手袋、お茶等	駆除した外来植物の処理はゴミ袋に入れて密封し、諏訪市所有の運搬車両により諏訪湖周クリーンセンターへ運搬し、焼却処分	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う
⑦外来種駆除 （車山高原ヘラバヒメジョオン・セイヨウタンポポ・フランスギク）	北大塩財産区 車山高原観光協会	5月24日（木）にセイヨウタンポポの駆除 （予備日5月25日）  6月28日（木）にヘラバヒメジョオン・フランスギクの駆除 （予備日6月29日）	車山高原一帯に侵入が見られる3種の外来植物の駆除を行う。駆除方法について、ヘラバヒメジョオンは県が作成した外来植物駆除対策の手引に基づき刈取りで実施する。セイヨウタンポポ・フランスギクについては、地上部及び地下茎の駆除が必要であることから極力抜取りにより実施する。抜取りの場合は土壌の攪乱防止のため抜取り後は復元し、周辺の在来種への影響に十分配慮して実施する。処理については焼却処分とする。 なお、フランスギクはピーナスライン沿いに繁茂が見られるため道路管理者が実施する除草作業前に実施できるよう調整し、主に道路沿い繁茂箇所を移動しながら駆除を行う。	セイヨウタンポポ 40人程度  ヘラバヒメジョオン・フランスギク 50人程度	草刈り鎌、剪定ハサミ、草抜き、移植ごて、種子除去マット等 交通安全対策関係用具等	ゴミ袋、手袋、お茶等	駆除した外来植物の処理はゴミ袋に入れ密封し、茅野市所有の運搬車両により諏訪南清掃センターへ運搬し焼却処分とする。	ボランティア保険未加入者については保険加入手続きを行う